

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 渡邊光潤 TEL 03-6680-8711
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,376	2.3	109	△12.9	139	△11.0	95	△23.2
29年3月期第1四半期	1,345	0.2	125	△8.4	157	△9.9	124	△18.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 143百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △16百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	55.32	-
29年3月期第1四半期	71.98	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,185	3,292	63.5
29年3月期	5,069	3,235	63.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,292百万円 29年3月期 3,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	0.00	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,385	3.4	△147	-	△110	-	△130	-	△75.36
通期	5,454	4.7	145	△36.5	200	△31.4	140	△32.0	81.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	1,804,471株	29年3月期	1,804,471株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	78,835株	29年3月期	78,783株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	1,725,649株	29年3月期1Q	1,725,712株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いており、国内景気は緩やかな回復基調が続いているものの、海外各国の政治・経済動向への懸念による世界経済の減速リスク等から、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の下で当社グループは「着心地と品質」を柱に「世界一のオーダーメイド企業をつくる」を“ぶれることなく”継続して磨きつづけることに取り組んでまいりました。経営成績につきましては、売上高は小売事業のオーダーメイド販売が比較的順調に推移したことから1,376百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。利益面については前期に出店した店舗のコスト増加等により、営業利益109百万円（前年同四半期比12.9減）となりました。また、受取配当金23百万円の計上等により経常利益139百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。一方で減損損失16百万円や法人税等28百万円の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益95百万円（前年同四半期比23.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

小売事業が売上高666百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益91百万円（前年同四半期比1.1%減）、卸売事業が売上高397百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益6百万円（前年同四半期比66.0%減）、受託縫製事業が売上高788百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益22百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して116百万円増加し5,185百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度と比較して63百万円増加しました。主な要因は、季節要因による売掛金等の営業債権の回収に伴う現金預金の増加によるものであります。

固定資産は前連結会計年度と比較して52百万円増加しました。これは主に一部の投資有価証券の時価の上昇に伴う評価差額金を計上したことによる増加63百万円があった事によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して59百万円増加し1,893百万円となりました

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益95百万円の計上をした一方で、期末配当金の支払い86百万円があったことにより当第1四半期連結会計期間末の株主資本は、前連結会計年度と比較して9百万円の増加となりました。また、その他有価証券評価差額金は47百万円の増加でありました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期までの業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,352,972	1,510,644
受取手形及び売掛金	575,546	449,397
商品及び製品	163,958	161,490
仕掛品	27,295	24,150
原材料	131,533	156,097
繰延税金資産	52,342	54,547
その他	59,806	70,249
貸倒引当金	△1,011	△736
流動資産合計	2,362,445	2,425,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	233,571	212,449
その他（純額）	355,499	363,071
有形固定資産合計	589,070	575,521
無形固定資産		
その他	4,443	8,759
無形固定資産合計	4,443	8,759
投資その他の資産		
投資有価証券	1,264,480	1,327,512
敷金及び保証金	726,351	724,461
繰延税金資産	2,401	2,613
その他	131,380	131,940
貸倒引当金	△11,094	△11,094
投資その他の資産合計	2,113,519	2,175,433
固定資産合計	2,707,033	2,759,714
資産合計	5,069,478	5,185,556
負債の部		
流動負債		
買掛金	209,621	238,574
未払法人税等	38,776	33,300
ポイント引当金	49,130	45,236
その他	505,833	525,411
流動負債合計	803,362	842,523
固定負債		
繰延税金負債	121,279	134,355
役員退職慰労引当金	95,779	92,492
退職給付に係る負債	581,131	591,384
資産除去債務	203,826	203,883
その他	28,728	28,737
固定負債合計	1,030,745	1,050,852
負債合計	1,834,107	1,893,375

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	480,061	489,233
自己株式	△80,579	△80,668
株主資本合計	3,127,042	3,136,125
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	108,327	156,055
その他の包括利益累計額合計	108,327	156,055
純資産合計	3,235,370	3,292,180
負債純資産合計	5,069,478	5,185,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,345,420	1,376,665
売上原価	606,849	610,969
売上総利益	738,570	765,696
販売費及び一般管理費	613,036	656,360
営業利益	125,534	109,335
営業外収益		
受取利息	106	107
受取配当金	24,094	23,534
助成金収入	2,149	1,720
受取手数料	4,600	4,756
雑収入	840	623
営業外収益合計	31,791	30,742
営業外費用		
支払利息	114	140
雑損失	16	-
営業外費用合計	131	140
経常利益	157,194	139,938
特別損失		
減損損失	-	16,276
特別損失合計	-	16,276
税金等調整前四半期純利益	157,194	123,661
法人税、住民税及び事業税	21,901	32,525
法人税等調整額	11,068	△4,319
法人税等合計	32,969	28,206
四半期純利益	124,224	95,455
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,224	95,455

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	124,224	95,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140,778	47,727
その他の包括利益合計	△140,778	47,727
四半期包括利益	△16,554	143,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,554	143,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	646,743	394,377	301,714	1,342,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	472,486	472,486
計	646,743	394,377	774,200	1,815,322
セグメント利益	92,316	18,433	26,898	137,648

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	137,648
棚卸資産の調整額	1,410
その他の調整額	△1,301
全社収益(注1.)	69,023
全社費用(注2.)	△81,246
四半期連結損益計算書の営業利益	125,534

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	666,023	397,263	310,933	1,374,220
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	477,635	477,635
計	666,023	397,263	788,568	1,851,855
セグメント利益	91,341	6,263	22,016	119,621

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	119,621
棚卸資産の調整額	△615
その他の調整額	△855
全社収益(注1.)	71,239
全社費用(注2.)	△80,054
四半期連結損益計算書の営業利益	109,335

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託縫製事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び営業所で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び営業所について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として16,276千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。